

桑野造船株式会社

〒520-0243 大津市堅田 1-21-2

TEL : 077-573-8001

FAX : 077-573-8002

URL : <http://www.k-boat.co.jp>

E-mail : [kuwano@k-boat.co.jp](mailto:kuwano@k-boat.co.jp)

4月30日から開催された琵琶湖チャリティー競漕大会に合わせて、コーチセミナーの企画と開催を担当しました。その講師の一人として藤井高体連ボート専門部長には東日本大震災の被災ボート部の視察報告を頂きました。聞くと見るとは大違いで被災の現実を知って受講指導者の心を揺さぶったと思います。いまはボート部員が居るのです。みんなで支えて活動を続けられるようにすることが支援のポイントだと思います。従って支援行動は緊急を要すると考えています。こころと機材を贈りましょう。【古川】

## 未来に向かって進化

- お客さまの役にたつ存在になる -

\* 総てに挑戦

プロの仕事に徹する

\* 存在価値の追求

国内メーカーとしての価値を高める

\* スピードアップ

総ての仕事に納期を設定する

## 復興支援機材提供のお願い

3月11日に発生した東日本大震災では、多くのボート仲間も被害を受けました。大事に使われていたボートはもちろん、オール、エルゴなど多くのものが失われ、被災地の団体の多くが活動縮小を余儀なくされています。全国のボート仲間の皆さんにはこれらの機材提供をお願いし、弊社トレーラーで被災地の団体へお届けすることにしました。修理する時間と資金の当てがありませんので提供いただく道具はすぐに使える状態にあることを条件とします。現在、艇やオール、エルゴ、艇置き架台などが集まっています。(中には新品をご購入くださって提供される方も!) ご協力いただける方は、弊社までご連絡ください。桑野の東北便第2段は今週末に出発の予定です。 [http://www.k-boat.co.jp/info/i\\_11shien.htm](http://www.k-boat.co.jp/info/i_11shien.htm)

瀬田で開催されたコーチセミナーで藤井先生がお話された際の資料が高体連ボート専門部のホームページに掲載されています。現地の様子がよくわかりますので、ぜひご覧ください。 <http://www.hs-rowing.jp/>

## シマノストレッチャーシステムを利用した試作ストレッチャー

シマノ社製ストレッチャーシステム(SRD)のメインパーツと、既存ストレッチャーシステムとを融合させた試作ストレッチャーを製作しました。

4/22-24の中日本レガッタにおいて、A1 1Xに取り付けした展示品をご覧頂きましたが、シマノストレッチャーシステムの特徴的な部分である『Virtual Pivot』を含むピンディングシステム部分をパーツ単独で組み込み、既存ストレッチャーシステムと同様のアルミプレート調整、キールブラケット固定方式によって、既存ストレッチャーから変更した場合でも違和感のない取付・調整を可能にしています。試作段階として、ストレッチャーボード本体は軽量化を追求した発泡体コアサンドイッチのカーボンストレッチャーボードを製作しました。今後は完成艇レベルでの重量低減にも対応していく予定です。



## お知らせ

### \*Concept2 Indoor Rower Dynamic 通常販売開始!

前回のBoat Timesでもご案内した新しいエルゴメーターDynamic。予定より早く通常販売が開始となりました。ご注文いただいてから1週間程度でお届けできます。(在庫がある場合)新入部員への技術指導に最適です。

### \*まもなくFISAツアー@琵琶湖が開催!

震災の影響で開催が危ぶまれたFISA World Rowing Tourですが、予定通り6/4~6/12にかけて開催されることが決定しました。原発の影響で一部、参加キャンセルも出ましたが、「こういう時だからこそ」と世界中からボート愛好者が集まります。アジア初のWorld Rowing Tourが成功するよう、皆様の応援をよろしく願います。 <http://fisa-tour.setarc.jp/>

### \*カヌースプリント/ジュニア海外派遣選手選考会

世界ジュニア選手権派遣選手選考会が、3月から5/1~5/4に日程変更され石川県・木場潟湖で開催されました。現地には桑野のメンテナンスブースを設置し、修理対応を行いました。最近では、カヌー界にも“艇のメンテナンス”という意識が根付き、修理依頼もいただくようになりました。ひどい傷はもちろん、小さな傷でも早めに修理することが長持ちの秘訣です。

### \*琵琶湖チャリティー競漕大会が終了しました

朝日レガッタの中止に伴い、琵琶湖では代替レースとして琵琶湖チャリティー競漕大会が開催されました。滋賀・京都を中心としたレースでしたが、趣旨に賛同した他府県からの参加もあり279クルー・735名の選手が熱戦を繰り広げました。桑野造船も会場にブースを設置し、ボート関係者の皆様とお会いするとともに、復興支援機材提供のお願いをさせていただきました。今大会の出漕料全額、および会場でのグッズ販売の売上金は日本赤十字社等を通じて被災地へ寄付されます。

BOAT TIMESの配信停止をご希望される方は、お手数ですがFAX (077-573-8002)又はE-Mail ([kuwano@k-boat.co.jp](mailto:kuwano@k-boat.co.jp))で弊社までご連絡下さい。また、ご意見・ご感想などもお待ちしております。

お手数ですがボート・カヌー関係者へお渡しください。